※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	漢字仮名まじりの書	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・季節に関する言葉や自分が好きな言葉を選び、その言葉が表すメッセージを、意図に応じた書で表現します。（他者へ「伝える」書）
・線質（優しい、力強いなど）、字形（丸い、縦長など）、紙面構成（余白のバランスなど）について学び、より自分らしい書表現で作品制作が出来るようにすることをめざします。
・身近に飾れる作品（うちわや葉書、栞など）を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。
・日常的な書の要素が強いため、墨液だけでなく、顔彩やマーブリングなどのカラーも取り入れて学習します。

2　学習の到達目標

線質・字形・紙面構成についての技術を身に付ける。またその技術を基に、自分の思いや個性を書で表現し、他者の心に響く作品を制作できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活の書の効用について幅広く理解している。またその価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わう感性を身に付けている。 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を創意工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半	線質の学習・手本のある作品制作	・線質の違いについて、平仮名の単体や短い文章で学習する。 （丸い字、軽やかな字、力強い字など） ・与えられた手本に対して臨書し、線質・字形・紙面構成について学習する。	a: 漢字仮名まじりに関する様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b:目的や用途、表現形式に応じた個性的や表現について工夫している。 c: 主体的に漢字仮名まじりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート
	創作学習①	・先に学習した技術を基に、作品の創作を行う。 （墨液のみの作品） ・短い言葉を書く （顔彩を使用した作品）	a: 漢字仮名まじりに関する様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b:目的や用途、表現形式に応じた個性的や表現について工夫している。 c: 主体的に漢字仮名まじりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート
前期後半	創作学習②	・先に学習した技術を基に、作品の創作を行う。 ・裏打ち	a: 漢字仮名まじりに関する様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b:目的や用途、表現形式に応じた個性的や表現について工夫している。 c: 主体的に漢字仮名まじりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート
	創作学習③	・うちわに好きな言葉を書く。	a: 漢字仮名まじりに関する様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b:目的や用途、表現形式に応じた個性的や表現について工夫している。 c: 主体的に漢字仮名まじりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 レポート ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度